



憧れる文化から人を認める文化へ **修了式**

本日の修了式でお話した内容を紹介いたします。

今日で令和5年度が修了します。本当にあっという間だったように思いますが、みんなはどう感じていますか？早かったですか？遅かったですか？いろいろな感情をもって今日を迎えていることと思います。

5月にコロナも2類から5類に移行となり、予定していた様々な行事も実施することができました。君たちの努力もさることながら、先生方が君たちに充実した時間を持ってほしい、達成感を感じてほしいとの思いからたくさんの準備や努力をしてくれたおかげであることをどうか忘れないでください。そのような1日1日の積み重ねを経て今日を迎えることができたことをお互いに喜び、感謝しあいたいと思います。

話は変わりますが、卒業式の時に卒業生に対して、皆さんは「**後輩たちが先輩に憧れるという文化**」を築いてくれたというお話をしました。

体育大会でのソーラン、合唱コンクールでの学年全体合唱。部活動や生徒会、専門委員会での先輩たちの言動等、君たちが目指すべき存在であったと思います。しかし、いよいよ君たちの時代が来ました。そこでこれからはみんなにはこうあってほしいという新しい文化について話したいと思います。それはこれからは後輩が先輩にあこがれるというだけでなく、先輩や後輩に関係なく、「**頑張っている人を正しく認める文化**」をみんなには築いていってほしいと願っています。年齢差や大人だから子どもだからではなく、周りにいる人の良い面を認めるという文化です。人はとすると周りの人に対し、自分よりも劣っているところや嫌なところを探し、時には攻撃し、自分を優位にして安心させようとすることがあります。しかし、それでは一人一人の成長はストップしてしまいます。だから、校長先生もこの学校では教員経験が一番長いですが、君たちの周りにいる先生方の努力を認め、学ぼうという気持ちを持つようにしています。さらには君たちから学ぶこともあります。

一緒に「**人を認める文化**」を築いていきましょう。このことは新入生にも入学式で話そうと思います。さあ、今日から新年度に向けて心の準備を始めながら有意義な春休みを過ごしてください。期待しています。

保護者の皆様へ

保護者の皆様、本日で今年度が修了いたしました。多くの日常が戻ってきたとはいえ、様々な学校行事が無事に実施でき今日の日を迎えることができたのは保護者の皆様の中学校への深いご理解とご協力のたまものであると感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。新年度もどうかよろしくお願い申し上げます。

春休み中何かございましたら、学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

【追伸】学校ホームページで日々の様子を公開しています。ご覧いただければ幸いです。

過去の校長通信「止まり木」もご覧いただけます。